

らんぷ

NO. 19 2012年1月16日発行

<発行所>

始良伊佐地区事務職員協議会事務局

〒899-5403

始良市増田399 始良市立三船小学校

TEL 0995 (65) 2371

FAX 0995 (65) 2835

## ～退職予定者挨拶～

「溝辺相互支援室便り」から

溝辺小学校 徳永 謙

### 1. はじめに

私が、学校事務職員に採用されて36年になります。採用された当時は、仕事は、手作業が主流でした。学校事務職員に採用になり、新任地に赴任したときは、算盤も経理の仕方も何も知らないままでしたので非常に不安な気持ちでした。仕事面でわからないときは、近くの先輩の先生の学校に出向き実務を実地で指導していただきました。その当時の担任の先生方は、ガリ板切りに四苦八苦されており、早くこの仕事から解放される機械は出てこないかなというのどかな時代でした。今の時代と違って、学校内のほとんどの仕事が手作業でした。かろうじて、給料の支給内訳書の電算化が始まったばかりの頃でした。先輩の先生方からは、給料が電算処理される以前は、年末調整の時期になると旅館に泊まり込んで、金額が合うまで算盤ではじいたもんだと聞かされました。その当時は2・3校兼務はあたりまえで、5・6校兼務の事務職員もいたので給料以外の仕事ができないので、給料以外の仕事はさせないという取り決めも出たほどです。事務職員のない兼務校の先生の中には、給料・旅費・学校予算の執行の仕事を割り振られて四苦八苦して、本務校の事務職員に相談を持ちかけたそうです。

### 2. 機械化・デジタル化へ

事務職員に採用されて5・6年くらい経過してから、タイプライターが出始めました。それを購入した時の先生の嬉しそうな表情と上手くつかいこなしていく得意満面の顔が浮かんできます。でも、タイプライターを何らかの原因でひっくり返してしまい慌てて業者を呼んで元に戻してホッとした姿は、まだアナログ的な光景でした。

もうしばらくしてから、事務室にも算盤から電卓に替わり手書きの書類作成からワープロ作成・表計算ソフトの登場とOA化の波が押し寄せようとしてきました。

採用されてから23年間つまり13年前までは、現金で給料を支給していたので、給料支給日とその1週間前はとても休めませんでした。給料支給日は、盗難防止に銀行では開店前に銀行の別室に銀行員通用口から入れて貰い、現金を確認後、学校に戻りました。一方学校では、事務室を内側から施錠してボーナス日は2000万円程度の現金を30分ほどで袋詰めを終えて、給料日を無事終わることを祈っていました。給料日に忙しさのあまり支給日を忘れて帰ろうとする職員もいたりして慌てて追いかけたこともありました。最近では、給料袋の重みも・給料日という意識も様変わりしてきました。それと平行して事務室での現金支給がなくなり殆どの給付金も口座振込へと移行してしまいました。

仕事でパソコンを使い始めた頃には、そこまで人間が支配される事は無いだろうと思っていたのに何時からか、携帯なしでは不安な気持ちになってしまう自分が存在するのと同じような状況の中で機械に支配されながら毎日パソコンに向かって仕事をしています。

### 3. 事務室の機能と共同実施

私たちの子どもの頃の学校と、今の学校はどこが違っているだろうか考える事があります。そこで生きている子どもたちも働いている職員も恒に時代に左右されながら止まることなく流されています。事務室もまた時代の要請に応じて人員や内容を変えながら変遷してきたと思います。それは、内なる意識と外からのシステム改革を余儀なくされています。事務所の研修会で所長より「学校において事務職員は車の両輪の一翼を担っているのだから、管理職と相談しながら仕事に取り組んで欲しい。」と聞くものでした。

子どもたちの教育条件整備にむけて各学校の事務職員が、アンテナを高くして現場の職員や子どもたちの生の声を聞いて仕事ができることが重要なことだと思います。

この10年で、全国の学校で学校事務の共同実施が導入されてきました。その内容・運営は各県によって違っています。ある地域では、コスト削減の影響で学校事務のセンター化により、学校からの事務職員を引き上げたり、学校事務の専門性を否定する人事の配置を実施して関係する学校職員や子どもたちが困っている地域もあります。

学校現場にいて、ニーズを的確に把握して、問題解決に当たる事務職員が、いることが大事だと思います。

昨年度末に、霧島市の学校事務共同実施については、霧島市教育委員会から、(案)が提起されました。

学校事務の共同実施は学校事務職員のみならず、学校現場にも大きな影響があると思います。学校事務の果たしてきた歴史的役割と今後の可能性をよく議論し、子ども達にとってよりよい制度である必要があると思います。



協力をし、ランプ  
のように、未来  
を照らしていきま  
しょう。

### ～湧水町の共同実施～

栗野中学校 藤元 智美

本年度第1回目発行の「らんぷ」(NO. 18)で、始良・伊佐地区の「共同実施」の内容について報告いたしましたが、湧水町で地区内最初の導入がされたので報告したいと思います。参考にして下さい。

1. 本格実施の時期  
H24. 4. 1 (辞令交付はH23. 10. 1)  
\*辞令交付はH23. 10. 1だが、本格的に動き出すのはH24. 4. 1の予定。
2. 県の共同実施(案)との相違  
ほぼ同じ
3. 支援準備室要綱の有無  
支援準備室がないため要綱はありません。支援室運営規定があります。室長該当者がいなくなった場合のことを考慮し、「支援準備室要綱も作成したほうがよいでしょう。」とのアドバイスはいただいているのですが・・・。
4. 室長該当者の有無  
有
5. 支援室の数・ブロック割り・実施回数等  
支援室の数は1、ブロック割りは町全体、実施回数は年12回実施予定(月1回)。
6. 当面の支援室業務について  
主に諸手当認定事務からと考えています。
7. これからの支援室の展望について  
支援室として何ができるのか、どのような業務を取り扱うかを検討中。

### ～ボーリング大会お礼～

去る8月9日地区研修会終了後に開催したスポーツ交流会(ボーリング大会)へ、20名弱の参加がありました。

団体戦と個人戦を行い、大いに盛り上がりました。結果は団体戦1位が前田さん(三体小)松永さん(牧園小)松山さん(牧園中)の牧園チーム、個人戦1位が松永さん(牧園小)・2位が園田さん(国分西小)・3位が西島さん(国分小)でした。成績は2ゲーム

のトータルです。1ゲームだけですが195というスコアを出した方もいました。

参加して下さいの皆様、お忙しい中時間を割いていただきありがとうございます。そして来年は更に盛り上げていけたらと思います。

### ～連絡事項～

いよいよ異動時期が近づいて来ました。この時期仕事に追われてついつい忘れがちになりますが、地区事協から退職者(期限付満了含む)への給付金があります。該当者は速やかに各ブロックの理事まで連絡して下さい。各理事は山田中まで連絡をお願いいたします。



\*あけましておめでとございます。辰年にあやかって、飛翔の年となりますように。

### 編集後記

新しい年になりました。最近月日が過ぎるのが特に早く感じます。年のせいかもしれませんが。今回の「ランプ」は退職予定者挨拶・湧水町の共同実施・ボーリング大会お礼・連絡事項を掲載しました。

退職予定者につきましては、地区内にまだ数名の方がいらっしゃいます。長い事務職員生活ご苦労様でした。「山あり谷あり」色々な事があったと思います。お体を大切にして第2の人生を充実したものにして下さい。再任用等希望されている方は、来年度も研修会でお会いしましょう。

湧水町の共同実施につきましては、地区内で最初に導入をされました。概略は前記の通りです。他市でも導入が予定されていますので、地区内で情報交換ができたらと思います。よりよい制度となるよう協力していきましょう。

3学期は我々事務職員にとって忙しい学期になります。お互い体に気をつけすごしましょう。

文責 針持小 上西

